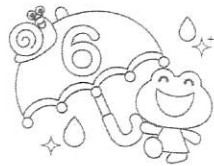


2026年

# さんまのりあ通信



真夏のような暑さによく慣れたと思ったとたんの急な寒さ... 気温の変化が激しい今日この頃、お子さんたち・ママたち、体調は大丈夫ですか？ 美味しいものを食べて、健やかに過ごしてくださいね。

先日、ムーブメント活動をしていた時、パラシュート(パラバレーン)をさっと広げた瞬間、年中さんの男の子が「わくわくするねよ」と言ったのです。「え？凄いい！」わたしはびっくり仰天してしまいました。3ヶ月ほど前には「わくわくする～」と書いていました。その時も驚いたのですが「ね」がついたのです。相手に同意を求める「ね」感動を共有しましょうよ、という思いの「ね」がついたことで、この男の子の大きな成長を感じました。0歳児から、ほぼ毎日まものりあに通い、確か3歳の誕生日頃まで「ことばが出ない」とママは悩んでいたはず。いったん出始めたことばは湯水のようにあふれ出て、相手と気持ちを共有できるまでになったのです。若干、会話が一方通行なところはありますが..(^^)/ こども園はお休みしても「まものりあには行く」というお子さんの気持ちを尊重し、頑張って連れて来て下さったママに感謝です。

お子さんのことばに関する相談の際に、昔お世話になった先生から教わったことをいつも思い出します。「ことばがゆっくりなお子さんが情報をキャッチするのは、細い一輪挿しの口からス〜っと奥まで届く時のみなのです。」と。だからわたしは、お子さんたちと関わる時、邪悪な刺激は与えず、不必要なことばは極力使わないように、目が合った瞬間、端的に短く伝えています。

ふと思うのです。小さいお子さんたちには、こちらの「ことば」を届けたい。でも大きくなり思春期前後のお子さんたちからは、「ことば」を受け取りたいのです。日々悶々としている子どもたちが何を考えているのか？何が辛いのか？ 気持ちを打ち明けて欲しいのに話してくれない... そういう相談もたくさんあります。思春期前後の子どもたちもまた、細い一輪挿しの口を探しているのではないのでしょうか？

誰に、いつ、どんな時に気持ちを伝えられるのか？ きっと探しているのだと思います。聴くわたしたちが、不必要なことばを伝えることで、そのきっかけを失ってしまうような気がします。心の扉とことばの扉はつながっていると感じます。

0歳児から18歳までのお子さんたちと関わらせていただく中で感じるのは、どの子にもとても大切な「要の時」があり、そこでいかに寄り添えるかが、カギのように思います。寄り添うというのは伝えることではなく、受け入れること、聴くことだと感じています。それができているのか?! いつも自分に問いかけています(^^)/

ママたち自身が悶々とした時は、いつでも職員にお話ししてくださいねよ

## ♪ \* ♪ \* ♪ \* 足裏マッサージ おおめ ♪ \* ♪ \* ♪

★ 両手の親指の腹を使って、お子さんの足裏全体を上下にやさしくなでる。

<効果> 情緒の安定と快眠、運動能力の向上など

親々のスキンシップの時間にどうぞ♡

